

何があろうと“できること”はある。できることの積み重ねで技量向上を！

～ 長月:美術科体験入学会、そして神無月:総合文化祭準備、霜月:様々なチャレンジ ～

秋も本番になってきました。9月26日(土)・27日(日)の午後には、例年通り、美術科体験入学会が開催されました。26日には普通科、27日には美術科のメンバーが参加者案内をはじめ、運営の補助に関わりました。さらには、在校生への質問にも対応しました。また、午前中は、総合文化祭へ参加するための番組制作にも取り組みました。放送部メンバーとしては、例年以上に充実した時間となりました。



中間考査があり、総合文化祭へ向けて仕上げの時期です。今回は、新型コロナ対策のため、個人部門は録音したCDと原稿を、番組部門は作品をCDに収録して進行表と共に10月30日(必着)で事務局へ送付する必要があり、時間との戦いでしたが、とにかく必要なものは送付し大会にチャレンジです。



総合文化祭予選

オーオウンハイ

オープンハイ裏方…

総合文化祭決勝

さて、予選本番です。大会への参加についても、新型コロナ対策のため会場の収容人員が制限されている関係で、全員で参加することはできません。参加したメンバーは参加できないメンバーの思いも背負って取り組みました。特に今年は、ほとんど棄権もなく、多くの学校の放送部員が大会への強い想いを感じました。その中で、予選結果はアナウンス部門佳作1、ラジオドキュメント部門佳作1となりました。“あと少し”で入選=決勝進出、“あと少し”で佳作というものもあり、次へ向けての手ごたえを感じることができました。それにしても“あと少し”が難しい…。決勝大会へはテレビドキュメント部門で参加です。結果は奨励賞となりました。来年は、明石高校が予選の会場になります。

同時並行で、文化部発表会です。放送部は動画での参加です。放送部・歴史捜査隊による“明石高校の歴史発掘”ということで参加しました。3年後の100周年へ向け多少とも役に立てればと思います。さらに、オープンハイスクールにも関わりました。オープンハイスクール時の“部活見学”には、放送室が目立たない、行きにくい場所にありながら、10名を超える見学者がありました。新型コロナウィルス感染拡大で“第3波”とも言われますが、いつか必ず終息します。その時に備えて力を充実させましょう。

受験生のみなさん、共に今を乗り切りましょう。“あきらめないこと！”それが大切です。